



◆安全管理

直接工事を行っている教室だけでなく、騒音や振動が影響する学年の児童は、新校舎に移動して学んでいます。

また、工事エリアは仮設の壁（写真4）などにより児童が侵入できないよう封鎖するなど、安全管理には万全を期しています。

今後も緊急時の避難経路を確保しつつ、順次改造工事を進めて参ります。



写真4 仮設の壁で生活空間と区分

一方で学び舎が 幕を閉じます

平成25年4月に施設一体型の小中一貫教育学校が開校し、現在の中学1・2年生は三戸小学校に隣接された新しい校舎で学ぶことになりました。一方で、昭和50年に開校した三戸中学校の校舎は、38年の歴史に幕を閉じることとなります。

これに先立ち、1学期の終業式が行われた7月20日には、全校生徒の見守る中、この学び舎に対する感謝のメッセージが刻まれた垂れ幕（写真5）が設置されました。

セレモニーでは、PTAの井畑哲夫会長が「この校舎で学ぶのは今年度が最後です。幾千人、幾千通りの魂を育んできた学び舎でもありません。皆さんにはこれまでの歴史を感じ取り、校舎への感謝を抱き、一日一日を大切に過ごしていただきました



写真5 校舎に設置された垂れ幕



写真6 メッセージに込められた想いを伝える  
井畑PTA会長

い。そして何より、新校舎へ移動した後も伝統ある三中魂を受け継いでいただきたい。」とあいさつし、『学び舎に人生と歴史あり』というメッセージに込められた想いを生徒に伝えました。（写真6）

現在の三戸中学校の体育館は、新校舎に体育館が完成するまでの間しばらく利用されますが、38年間にわたり多くの生徒が巣立った校舎とは来年3月でお別れとなります。（写真7）

※来年1月26日（土）には、実行委員会による「三戸中学校校舎お別れ式典（仮称）」が開催される予定です。



写真7 8,000名を超える卒業生を送り出した三戸中学校舎

学園名の応募状況

6月25日まで募集していた学園名には、合計124件の応募がありました。

今後、関係者で組織する委員会では、選考し、決定する見込みです。たくさんのご応募ありがとうございました。